

市民後見人推進事業進捗状況（H23.12.10現在）

1. 地域実態把握

地域からの相談および訪問等による実態把握

平成23年6月～11月（6ヶ月実績）

相談・訪問件数 122件

対象者属性 性別

男性	46人
女性	76人

年齢

20歳代	4人
30歳代	3人
40歳代	5人
50歳代	12人
60歳代	12人
70歳代	40人
80歳代	35人
90歳～	11人

相談者

本人	16
親族	49
民生委員	4
行政	6
医療・介護関係	38
その他	9

主な内容 本人：

金銭管理の不安を抱えている
息子から年金を搾取されている
任意後見について

親族：

病気や障害のある家族について、今後の不安
遠方に住んでいるので支援が出来ないことの心配
認知症が進んできたので心配
悪徳商法にだまされる親族の心配
意思の疎通が困難になった親族の金銭管理
同居家族が親の年金を搾取している
親族の後見申し立ての方法について知りたい

民生委員：

独居で認知症の方の心配
知的障害のある兄弟の生活の心配
経済的に困窮している障害者の心配

病院・施設

身寄りのない入院・入所患者について
親族から金銭を搾取される入院・入所者
親族と連絡がとれない入所者
知的障害で単身の人今後の生活
身元引受人が知的障害、身元引受人が死亡

ケアマネ：

在宅で金銭管理ができない人について
入院中の人で退院後の生活について
認知症のある姉妹の生活
親族がかかわろうとしない認知症の人

行政関係者：

独居で認知症の人の生活について
金銭管理のできない生活保護の人について
精神疾患で税金滞納の人の生活状況

2. 検討会議

①会議メンバー

職名	所属		
医師	認知症疾患医療センター		
弁護士	ひまわり基金弁護士事務所		
司法書士	リーガルサポート		
学識経験者	熊本学園大学		
福祉施設代表	養護老人ホーム施設長		
行政職員	山鹿市介護保険課		
//	山鹿市いきがい推進課		
精神障がい相談員	精神科病院		
身体障がい相談員	身体障害者施設		
知的障がい相談員	知的障害者施設		
社協理事	民生児童委員		
社協職員	事務局長		

②会議日程（23.12.10現在）

平成23年7月28日

平成23年8月22日

平成23年8月30日

平成23年10月13日

平成23年11月10日

平成23年12月6日

③検討内容

- ・後見センターに寄せられる相談や訪問による実態把握の内容について
- ・後見センターで受任するケースの状況について
- ・地域福祉権利擁護事業での支援状況について
- ・市民後見人の役割について

3. 市民後見人養成講座

第1期市民後見人養成講座（基礎編）

平成23年8月25日～平成23年12月8日（5回開催）

修了生（全過程） 14人

今後の予定

修了生の中から成年後見センターの支援員を採用

（支援員として活動しながら次年度以降の研修を受講：別添計画）